

# まちの話題

## ① 26名が新たに！

### 和水町消防団辞令交付式



▲新入団宣誓をする浦部旭さん

4月1日(日)、和水町消防団辞令交付式が和水町中央公民館で行われました。

交付式には、各分団から新入団員と部長らが出席。徳永消防団長から部長・新入団員の順に辞令が交付されました。26名の新入団員を代表して第5分団3部の浦部旭さんが「良心に従い、忠実に任務を遂行します。」と力強く宣誓しました。また、辞令交付式終了後は早速、規律訓練が実施され、竹下副団長の指揮の下、新入団員らは慣れないながらも規律ある行動をとっていました。

新入団員の辞令交付式と同時に、3月をもって退団された竹下啓悟さん他28名の方に感謝状が贈られました。和水町消防団のみなさまには、これからも大変お世話になります。

## ② 車に気を付けて

### 朝の交通安全指導



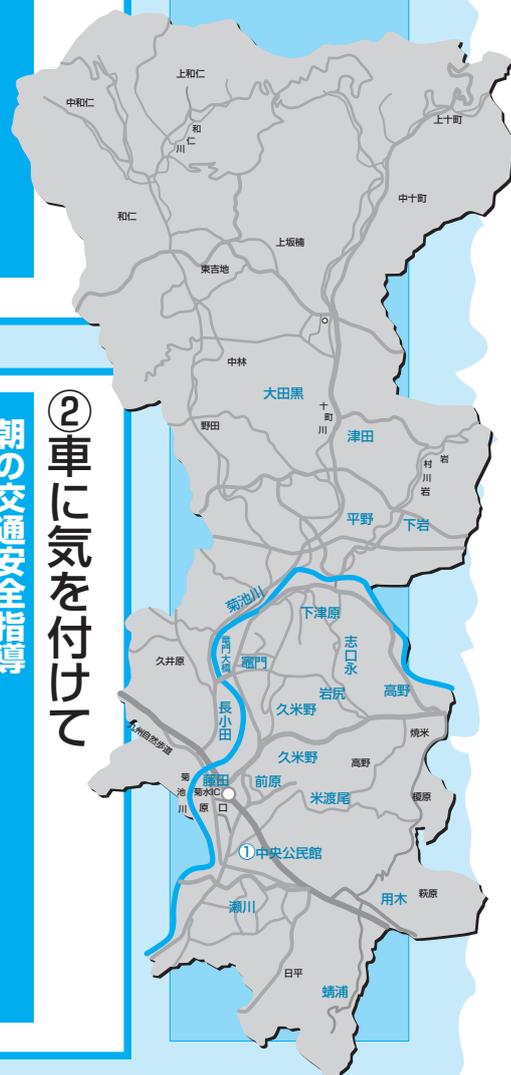
▲手を挙げて渡ろう！

4月11日(水)～4月18日(水)にかけて、町内全域14箇所の交差点等で、朝の交通安全街頭指導が実施されました。

これは、毎年4月に

実施されていた『春の全国交通安全運動』が、統一地方選挙のため5月に延期されることになり、進入学期時の交通事故が懸念されることから、町が交通安全協会やPTA、指導隊等呼びかけて実施しました。

4月11日(水)、江田の交差点では、坂梨長町をはじめ10人程の安全協会員らが通学する児童・生徒に対し、「行つてらっしゃい」「一車に気を付けて」など、通学する児童らに声をかけていました。



### ③安全日本一をめざして

#### 〜和木町交通安全推進委員〜



▲竹下春夫さん



▲大槻正明さん

平成19年4月1日付けで、大槻正明さん（中路）、竹下春夫さん（板楠東）の2名が熊本県公安委員の2名が熊本県公安委員会から『地域交通安全推進委員』に任命されました。

主な活動内容としては、住民に対する交通安全教育や違法駐車等の指導、また広報啓発活動や住民相談など広範多岐にわたる活動されます。

地域交通安全推進員は、交通安全活動のリーダーとして活躍していただくボランティアの方に熊本

### ⑤川の環境守ります

#### 〜和木町河川水援隊〜

みなさんは河川水援隊をご存知ですか？河川水援隊は「和木町の河川を美しくする条例」で設置が定められており、河川の浄化活動の推進を目的として、日々活動しています。

和木町には、1級河川菊池川をはじめ、それに流れ込む支流が数本あり、この川の恵みに支えられて生活してきました。水援隊では、この豊かな河川を守る

ため、毎月、河川の水質検査や河川浄化の啓発活動など少しでも河川環境が良くなるような様々な活動を行っています。

※私たちが毎日排出する生活排水が川の汚れる原因の50%を占めるといわれています。川に棲む生き物たちへの優しい気持ちも忘れずに大切にしていきたいものですね。



【和木町水援隊】

庄山 正義さん（後列左）  
 牧嶋 正輝さん（後列中）  
 長木 邦隆さん（後列右）  
 川口 健吾さん（前列左）  
 平 賢さん（前列中）  
 平 晋一さん（前列右）

### ④ごみのない町を目指そう！

#### 〜生活環境を守る会〜



▲道路沿いから見守る鳥居

町のどこかで見かけたことがある鳥居。この鳥居は、『生活環境を守る会』が少しでもごみの不法投棄がなくなるようにと製作したもので、現在町内の7箇所に設置してあります。おかげで、マナーが向上し、ごみの不法投棄が減りました。『生活環境を守る会』では、少しでもごみの投げ捨てがなくなるようにと願い活動しています。

まま子孫に残していきたいものです。

※ごみの不法投棄は法律で禁止。個人の場合1千万以下の罰金、法人の場合は、最高1億円の罰金刑が科せられます。

※『生活環境を守る会』：緑と清流を生かし、健康で文化的な生活環境づくりを推進することを目的に清掃活動や環境に関するイベントなどを実施。事務局は役場本庁税務住民課。